

だい じ
第5次

こ
さっぽろ子ども

み らい
未来プラン

しょう ちゅう がく せい む
小・中学生向け
がい よう ばん
概要版

れい わ ねん ど ねん ど
令和7年度(2025年度)



れい わ ねん ど ねん ど
令和11年度(2029年度)



さっぽろ し
札幌市

「さっぽろ子ども未来プラン」ってどんな計画？

「さっぽろ子ども未来プラン」は、子ども・若者に関すること、子どもの権利に関すること、子育てに関することについて、今後5年間で札幌市が取り組むことをまとめた計画です。

計画期間

令和7年度（2025年度）～令和11年度（2029年度）

計画の対象

全ての子ども・若者、子育てをしている方

「子どもの権利」に関する具体的な取り組み、このプランですすめていきます！



子どもアシストセンター
マスコットキャラクター
ハッピー

「子どもの権利条例」について

「子どもの権利」は、子ども一人一人が生まれながらに持っている、自分らしく豊かに成長するために欠かせない基本的な権利のこと。

札幌市では、「子どもの権利条例」という決まりを作って、子どもの権利をみんなで大切にする、子どもにやさしいまちを目指しています。

子どもにとって

大切な

4つの権利



安心して
生きる権利

いじめや差別を受けない
愛情をもって育てられる



自分らしく
生きる権利

それぞれの性格や考え方など、
その人らしさが大切にされる

豊かに育つ権利

学び、遊び、休む
夢に向かって
チャレンジする

参加する権利

自分に関わることに意見を言う
伝えたい意見が大切にされる

「さっぽろ子ども未来プラン」で目指すこと

1 目指すまちの姿

「子どもの権利条例」をもとに、このプランで目指すべきまちの姿（基本理念）を決めました。

子ども・若者の権利を尊重し、
子どもと若者の輝きが全ての市民を笑顔で結ぶまち

2 大切にする方針

このプランを進めるうえで、大切にする方針は4つあります。

- ① 子ども・若者と子育て当事者の視点
- ② 全ての子ども・若者が自分らしく幸せに生活できる環境づくり
- ③ ライフステージに応じて切れ目なく支える
- ④ 様々な機関等の連携により社会全体で支える

子どもの幸せを第一に、
子ども・若者・子育て
当事者の視点に立った
取り組みをすすめていくよ！



3 しひょう 指標

計画が予定どおり進んでいるかを確認するために、目印となる指標を決めて、その状況を見ながら計画を進めていきます。

子どもが
大切にされている
社会だと思う人の割合

目標

70%

現状

35.5%

子ども・若者・子育て
当事者に向けた取組が市民
に届いているか…

「さっぽろ子ども未来プラン」の主な取組 1

子どもの権利を大切にする

環境をつくり、全ての

子ども・若者が安心して過ごせる

環境を充実します！

札幌の子どもたちが、色々な
さんか たいけん きかい ひと
参加や体験の機会、人との
であ つう せいちよう
出会いを通じて、成長できる
かんきよう つく
環境を作っていくよ！



子どもの権利を大切にする社会をつくります！

主な取組

子どもや大人に「子どもの権利」を伝える取組

子どもの権利に関する小・中学生向けパンフレットの配布や、広く市民が「子どもの権利」を学ぶ機会をつくります。

子どもを受け止め、育てる環境づくり

子どもが安心して地域で生活できるよう、公園や道路の整備を行います。また、それぞれの子どもの状況に応じて、安心して学べるよう、学校で相談できる体制を作ります。また、子どもたちが安心して過ごすことのできる居場所を充実させます。

多様性が強みになるまちづくり

誰もが互いにその能力や個性を認め合い、多様性が強みとなる社会に向け、それぞれの違いなどについて、理解を深め、互いに尊重し合う意識の向上に取り組めます。

子どもが意見を言う機会や、色々な遊びや体験に参加できる機会をつくります！

主な取組

子ども議会

子どもたちが自ら札幌のまちづくりについて話し合い、発表する活動を通して、市政への子どもの参加や意見表明の機会にします。

自然・文化・スポーツ体験・職業体験

子どもは、色々なことを学び、遊び、体験することで成長していきます。札幌の自然や文化の特色も生かしながら、色々な体験の機会を作ります。また、子どもや若者が将来の夢を描けるよう、職業体験の機会を提供します。

国際交流の実施

子どもたちが広く国際的視野を持てるよう、姉妹都市やシンガポールとの交流を行います。

児童虐待の防止と、家庭で生活できない子どもやヤングケアラーを支援します！

主な取組

児童相談体制の強化

子どもの相談支援の場所である、児童相談所を2か所に増やし体制を強化します。また、身近な相談窓口である区役所でも、子育て家庭に寄り添った相談支援を行い、関係機関が連携しながら虐待の防止に取り組みます。

ヤングケアラーへの支援

相談の専門窓口の設置や支援機関などへのつなぎに加え、家庭を訪問し、家事などの支援を行います。

病気や障がいのある子ども・若者を支えます！

主な取組

障がいのある子ども・若者の発達や社会参加を支援

発達に心配のある子どもとその保護者に対して遊びの場の提供や相談支援を行います。また、学びのサポーターを配置し、学校生活を送る上で必要な支援を進めます。

医療的ケア児や難病のある子どもを支援

医療的ケア児が保育所に通うための取組や、ケアする家族が休める取組を行います。また難病のある子どもやその家族からの相談に対応します。

子ども・若者をいじめや自殺、犯罪から守ります！

主な取組

いじめ防止対策・自殺予防

いじめや自殺を防止するため、子どもへのアンケート調査や相談窓口の運営により、子どもの悩みや困りを早期に把握し、未然防止などにつなげます。

犯罪のない安全で安心なまちづくりの推進

日常生活の中で「防犯」を意識して周囲を見守る「ながら見守り」活動や、防犯カメラの設置、助けを求め子どもを保護する「子ども 110 番の家」などの地域防犯の取組を支援し、安全で安心に暮らせるまちづくりを進めます。

子どもの貧困の解消に向けた対策を進めます！

主な取組

子どものくらしを支援する 子どもコーディネーター

子どもの困りごとを支援する専門家「子どもコーディネーター」が地域を巡回しながら、悩みを抱える子どもや家庭の相談にのり、必要な支援につなぐお手伝いをします。



子どもの権利をみんなで大切にする取組や、いじめや虐待から子どもを守る取組を進めていくよ。

「さっぽろ子ども未来プラン」の主な取組 2

それぞれの年齢における
環境を充実します！

各学校で過ごす環境だけでなく、学校以外の居場所の充実にも取り組みます。



子どもが生まれる前から学校に通う前までの環境を充実します！

主な取組

妊娠前から出産までの間、妊婦への寄り添った支援を実施

妊娠、出産に対する正しい知識を広めます。また、妊婦がいる家庭を訪問し、妊娠・出産・育児に関する不安や悩みの相談に応じます。

保育サービスの充実

子育てをする家庭のさまざまな希望にこたえていくために、働いていなくても保育所に子どもを預けられる取組や、緊急時や病気の子どもの預かりなど、保育サービスの充実に取り組みます。

小学校から高校卒業までの年齢における環境を充実します！

主な取組

安心して過ごし学べる学校

札幌らしさを生かしながら、分かる・できる・楽しい授業にしています。

また外国語指導助手（ALT）や観察実験アシスタントを配置し、子どもたちの学びを充実します。更に、家庭の経済状況によらず、子どもたちが学べるよう、奨学金を支給します。

放課後の子どもの遊び場の提供

児童会館やミニ児童会館の整備を進め、より安全で心地よい居場所となるよう取り組みます。

学校に來れない子どもへの支援

全ての子どもが教育を受けられるよう、専門家にいつでも相談できる環境を整えます。

若者の成長・自立を支援します！

主な取組

大学進学や就職、結婚に向けた支援

大学進学に向けた奨学金の支給や、男女がともに活躍できる環境づくりをサポートします。また、結婚を希望する若者等に対する出会いの場を創ります。

若者支援施設

市内5か所にある若者支援施設（若者支援総合センター・若者活動センター）で、自立に向けて不安を抱える若者への支援や、若者同士の交流・社会参加のきっかけづくりを行います。

「さっぽろ子ども未来プラン」の主な取組 3

子育てをしている人たちの
環境を充実します！

子育てをしているお父さん、
お母さんを応援したいね！



子育てにかかる費用などの負担を軽くします！

主な取組

子ども医療費助成

高校3年生までの子どもの病院代や薬代の負担を少なくします。

第2子以降の保育料の無償化

認可保育所等における第2子以降の保育料が無料になります。

身近な地域での子育て支援に取り組みます！

主な取組

子育てサロン

子育て家庭が身近な場所で気軽に集まり、自由に交流したり情報交換したりできる子育てサロンを実施します。

父親・母親のどちらも働きながら、一緒に協力して子育てできるよう取り組みます！

主な取組

ワーク・ライフ・バランスの推進

仕事にやりがいを感じながら、家庭や地域でも充実した生活を送るという「ワーク・ライフ・バランス」の考えを広めるとともに、子育てをしている母親の仕事の継続や再就職を支援します。

母親と父親の両方で育児

母親も父親も子育てに積極的に関わることができるように、父親向けの育児講座を行うほか、育児休業を取得する男性社員がいる企業などへ支援を行います。

ひとり親家庭の支援に取り組みます！

主な取組

子育て支援や仕事への支援

孤立しがちなひとり親家庭等が、安心して子育てや仕事との両立を図り、安定した生活を送ることができるように支援します。

こどもが考える

こどもにやさしいまち

こどもにやさしいまちづくりを進めるためには、こどもの視点に立って考え、こどもの意見を反映していくことが大切です。このプランを作るために、こどもにやさしいまちはどんなまちか、札幌に住む子どもたち自身に考えてもらいました。



実際に考えたのは、中・高校生6名の
さっぽろティーンズ委員会の子どもたち！

こどもが権利を自覚し、 守られるまち

- ・子どもが「自由に意見を発信できる」
「その意見を大人が受け止めてくれる」
環境をつくるのが大切。
- ・子ども自身が意見を発信する権利があると自覚し、周りもその権利を認めることが必要。

こころとからだを守られるまち

- ・大人や地域が配慮し、子どもが話しやすい環境づくりが大事。
- ・子どものコミュニケーション力を上げるためにも、大人と子どもが交流できる機会を増やすといい。

あんしん あんぜん 安心 安全

な まち

こどもが安心して過ごす ことができるまち

- ・居場所の重要性を理解し、全ての子どもが安心できる居場所を見つけ、心から楽しいと感じて生活することができるよう、一人も取りこぼさないまちを目指せるといい。

こどもにやさしいまちには、
「安心・安全なまち」
であることが柱となり、
一番大切であると考えました。

ゆめ しょうらい じゆう えら 夢や将来を自由に選べるまち

- ・成功体験や成長につなげられるよう、子どもや大人が学び、経験できる場所を作り、広めていくことが大切。
- ・夢や目標に肯定的な考え方を広めることも大切。

さらに、

た と し 他都市との こうりゅう う 交流を受けで…

いけん の 意見を述べ、 はんえい 反映されるまち

- ・子どもがまちづくりについて提案し、いつでも子どもの意見を聞くことができるような環境づくりが重要。

かんきょう 環境にやさしいまち

- ・子どもが主体となった取組や企業と連携した取組で環境にやさしいまちづくりを進めていくことも大切。

だい じ こ みらい しょう ちゅうがくせい む がいようばん
第5次さっぽろ子ども未来プラン《小・中学生向け概要版》（令和7年（2025年）3月発行）

さっぽろし こ みらいきょく こ いくせいぶ こ きかくか
札幌市子ども未来局子ども育成部子ども企画課

でん わ
電話 011-211-2982 FAX 011-211-2943

Eメール kodomo.jisedai@city.sapporo.jp



さっぽろ市
01-G01-25-546
R7-1-58